

# 芹 沢 銈 介 美 術 工 芸 館

「きもの ー芹沢銈介・模様の世界ー」

会期：1期 2012年10月25日(木)～12月16日(日) [5・6F]

今回の展示は、芹沢銈介作品の中から着物を主に、あわせて屏風や染絵額など約80点を展示します。様々な花や木々、蝶や魚といった「自然」がモチーフになった作品、芹沢の得意とする「文字デザイン」が配された作品、漁具や扇・箱などの「もの」をデザインした作品を展示室ごとにテーマ設定し、芹沢の豊かな表現力で制作した模様を紹介します。

芹沢銈介は、幼い時から絵を描くことを好み、画家になりたいという強い思いを持っていました。しかし中学卒業直前に隣家の貰い火で生家が焼失、家運が傾いたため東京の美術学校への進学をあきらめます。その後、叔父の勧めにより東京高等工業学校（現・東京工業大学）へ進みますが、これまで培ってきた優れた描写力に、この図案科で学んだデザイン力が加わり、後に多岐にわたる模様（文様）を次々と生み出していくのです。

美術工芸館の展示室内は、芹沢の多岐にわたる模様で埋め尽くされます。民藝運動の創始者・柳宗悦が認めた、芹沢銈介の「模様の世界」をどうぞご覧下さい。

○出品作品 着物・帯・屏風・染絵額、型紙 約80点

○併設展示 [1F] 猪口と飯茶碗・宮城県のやきもの

入館料 本学学生は無料。要学生証提示。

開館時間 10：00～16：30(入館16：00まで)

休館日 日・祝日、11/23～27、12/10

※10/28(日)、12/16(日)は開館

▶ギャラリートーク 11/10(土)、12/8(土)

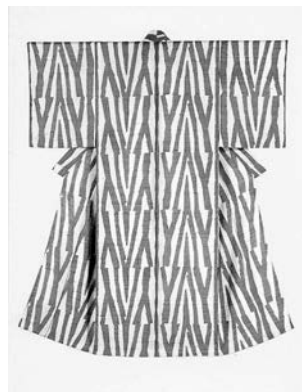
各11：00～

▶ワークショップ 「型彫りに挑戦！」

(材料費200円)

受付時間11：00～15：00(所要時間30～60分)

会期中の火・土曜日



芹沢銈介作「破れ格子文着物」  
紬地型絵染 1975年

スクーリングの合間にミュージアムショップ、5Fラウンジもご利用ください。ショップでは新商品が入荷しており、ラウンジでは月替わりのコーヒーや紅茶・クッキーも楽しめます。(http://www.tfu.ac.jp/kogeikan/)